第２回県立高等学校改革懇談会（白河実業・塙工業・修明）

日時：令和元年１１月２６日（火）
場所：修明高等学校

本日の内容

Ⅰ	第１回懇談会でいただいた御意見と県教育委員会の見解
Ⅱ	再編整備の方向性について
Ⅲ	今後のスケジュールについて

１　第１回懇談会でいただいた御意見と県教育委員会の見解

第１回懇談会で提示した再編整備のイメージ

修明高校

○ ４学級規模（文理１、農２、商１）
・文理科（40名）
・生産流通科（40名）
・食品科学科（40名）
・情報ﾋﾞｼﾞﾈｽ科（40名）
所在地：東白川郡棚倉町

集約

白河実業高校

○ ６学級規模（農１、工４、商１）
・**農業科**（40名）
・機械科（80名）・電気科（40名）
・電子科（40名）
・情報ﾋﾞｼﾞﾈｽ科（40名）
所在地：白河市

統合

塙工業高校

○ ２学級規模(工２）
・機械科（40名）
・電子科（40名）
所在地：東白川郡塙町

修明高校 (農業科＋１)

５学級規模[文理１・農業３・商業１]
場所：修明高校

○ 県南地域の農業教育の拠点校
○ 東白川郡の唯一の高校
○ 文理科、農業科、商業科を併設するメリットを生かした「学科横断的な学び」

白河実業高校＋塙工業高校統合校

６学級規模[工業５・商業１]
場所：白河実業高校

○ 県南地域の工業教育の拠点校
○ 工業科と商業科の連携による「学科横断的な学び」

第１回懇談会でいただいた御意見①

日時：５月２９日（塙工業）　７月２６日（白河実業）

1　**小規模校のよさ**がある（塙工業）
2　**1学級で存続**させるべき　（塙工業）
3　**連携型中高一貫教育**の成果（塙工業）
4　**通学の負担**の懸念（塙工業・白河実業）
5　**地方創生に逆行**している（塙工業）

第１回懇談会でいただいた御意見②

６　**魅力ある工業科の学び**ができる高校にすべき
（白河実業）

７　**農業科を存続**してほしい　（白河実業）

８　**女子生徒が学べる学科**がなくなる懸念
（白河実業）

９　再編整備の時期や方法の**再検討**を
（塙工業・白河実業）

１　小規模校のよさ
３　連携型中高一貫教育の成果

確かに２学級規模の中でも、様々な教育活動を行ってきたが・・・

４学級規模だった平成１０年代には、電気科も設置
連携型中高一貫教育を立ち上げた平成17年度は３学級規模

入学者数の減少・・・平成31年度入学者４３人

○ １学級規模になると、専門教科の教員も減少し、複数の工業科によって可能な**充実した工業の学び**や**連携型中高一貫教育**などの**これまでの取組は困難**

生徒一人一人の悩みや課題に向き合い、社会的な成長を促す
チームとしての支援体制

担任による面接週間・
個別指導・個別相談
各種アンケート
（いじめ・悩み事、学校評価）

スクールカウンセラー
学校医

特別支援ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ
ｽｸｰﾙｿｰｼｬﾙﾜｰｶｰ
教育相談ﾁｰﾑ・ｹｰｽ会議

生徒

チーム・ティーチング授業
（修明高, 石川高など）
習熟度別授業(石川高など)

振り返り・学び直し
課題テスト(修明高, 石川高など)

学習支援員・就職促進支援員

校内外の様々な角度からのｱﾌﾟﾛｰﾁと支援

地域と連携したキャリア教育

様々な学習支援・進路相談

3　１学級で存続させるべき

県教委としての１学級本校化の方針

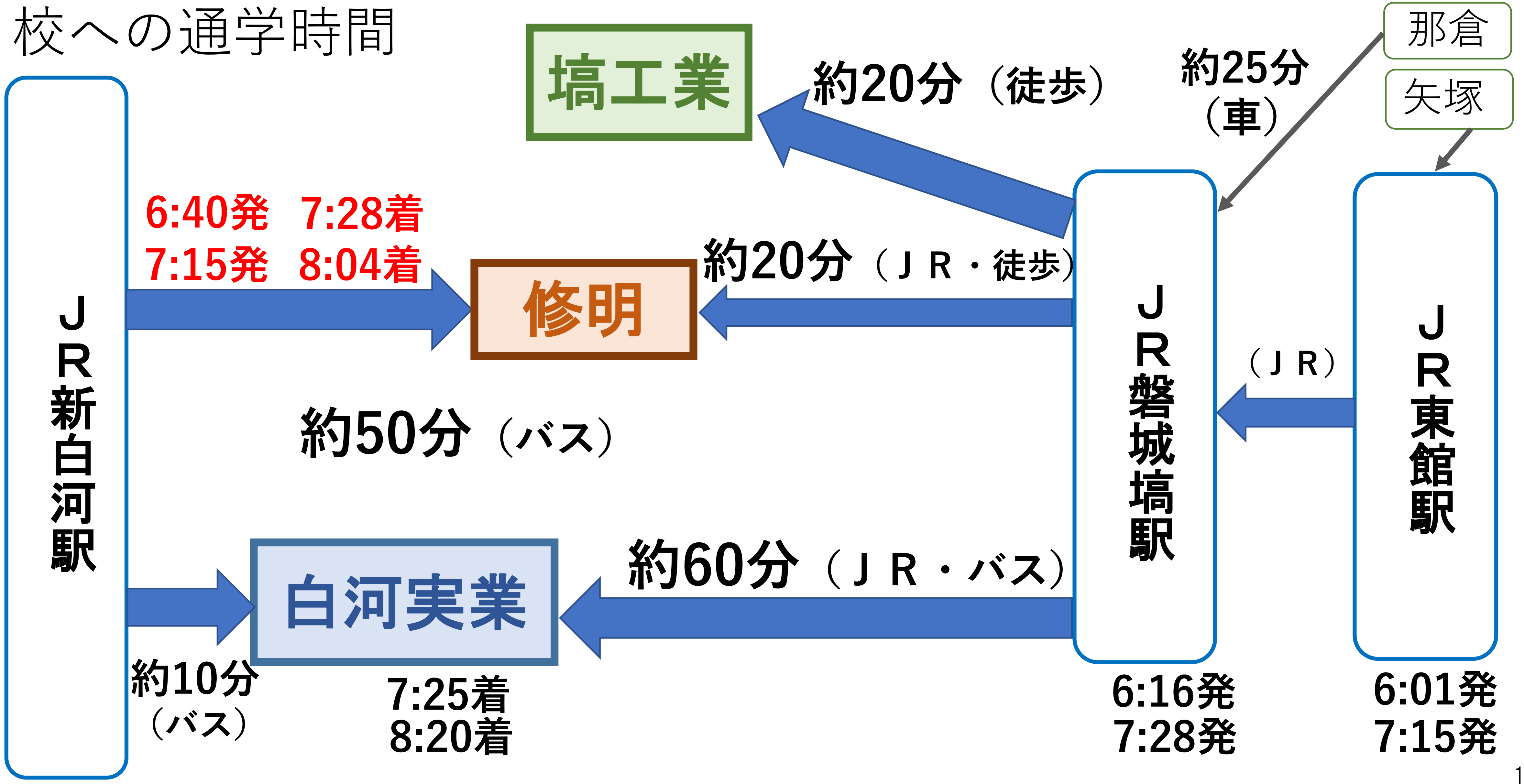
① **当該地域の生徒の教育機会が著しく損なわれる場合**
（地理的条件や公共交通機関の状況等から、統合により**近隣の高等学校**への通学が極端に困難になる場合）
→ 矢祭・塙から**修明高校**への通学は、約15分の延長

② **地元からの入学者の割合が著しく高い場合**
→ 塙工業における東白川郡（特に、塙町・矢祭町）の生徒の割合（46.6%）は、高くない。

（参考）川俣高校（工業科１・普通科１）（地元の生徒の割合87.1%）
→ 令和２年度から普通科１に

4　通学の負担の懸念

3校への通学時間



5　地方創生に逆行

就職者全体に占める県内就職者の割合（平成30年度卒業生進路実績）

白河実業高校（82.0％）
塙工業高校（89.6％）
修明高校（87.8％）

3校とも、県内就職者のうちの
9割以上が、県南地区へ就職

○ 統合校と修明高校それぞれにおける**専門性の高い職業教育**の推進

○ より**広域な進路指導**の推進（就職促進支援員の活用、インターンシップの充実）

○ **地域と連携**した取組の推進

地域人材育成を推進するチャンスに！

地域学校活性化推進構想

地域と学校のつながりを強化！

1 地域に根ざした学校運営

2 地域と学校の協働活動

3 地域の課題解決に向けた創造的復興教育

4 地域で共に学び、共に生きる特別支援教育

県全体で地域創生を担う人づくりを推進

昨年の出場グループ

- **チーム石高**

  …県立石川高校と学法石川高校
  合同で町づくりに参画

- **ONE TEAM**

  …県南地区の生徒が、福島県内
  の高校生同士のつながりづくり

自治体やNPOなどとの連携により学校を超えて、高校生が地域に貢献する取組

6　魅力ある工業科の学びができる高校にすべき
7　農業科を存続してほしい
8　女子生徒が学べる学科がなくなる懸念

○ **専門性の高い職業教育の推進**により、地域人材を育成していく必要性

○ 今回の再編整備を機に、女子生徒が進学してみたいと思えるような**魅力化**と**情報発信**を

※ 工業≠男子（塙工業、会津工業、郡山北工業など）
　 農業≠女子（岩瀬農業、会津農林、耶麻農業など）

9　再編整備の再検討を

第１回懇談会でいただいた御意見（塙工業・白河実業）

×

今後10年間の生徒の減少

※ 県南地区全体の生徒減少

2018年1,429人 → 2028年1,064人 ***25.5%の減少***

…県南地区全体の農業・工業教育の充実のためには、**再編整備は待ったなし**の状況

２　再編整備の方向性について

白河実業・塙工業統合校（案）のイメージ図

職業教育推進校

県南地域の工業教育と商業教育の拠点校

高い専門性を身に付けるための教育活動により、地域産業を支える核となる人材を育成

- ２校の学びの継承と充実
  専門的な技術を身に付けさせるための丁寧な指導
  「資格取得」「工業の各種大会参加」等
- 職業人としての資質を育成するキャリア教育の充実
  インターンシップの充実
- 工業科と商業科の連携による学科横断的な学び
- 地域と協働した取組により地域活性化に貢献

現在の白河実業と塙工業高校の工業の学び

白河実業

機械科
電子科
電気科

重複する学科
共通する強み
（丁寧な資格指導、
各種競技会等の活躍･･･）

だからこそ･･･

塙工業

電子科
機械科

統合校の学科の方向性

機械科（ものづくりの基礎的な知識・技術の習得）
電子科（電気技術者として必要な知識・技術の習得）
電気科（電子関係分野の技術者として必要な知識・技術の習得）
情報ビジネス科（ビジネスに関する専門的な知識・技術の習得、資質能力を育成）

＋

増設する工業１学級

方向性１　２校になかった学科（**建設系、農業工学系**など）

方向性２　３科（機械、電気、電子）を**総合的に学べる学科**
（例：ロボット技術、ＡＩ、Ｉｏｔ関連などに対応）

方向性３　ものづくりの面白さに触れ、**進学にも対応**できる専門学科

修明高校の再編整備のイメージ図

職業教育推進校

東白川郡唯一の高等学校として、各学科の特色を生かし、地域と連携した教育活動により、地域を支える核となる人材を育成

- 生徒の多様な進路希望に対応した丁寧なキャリア教育
- 地域と連携した教育活動（地域課題探求活動の実践）
- 農業教育と商業教育の推進により、高い専門性を養成
- 文理科における個に応じたきめ細かな指導による進路希望実現
- 学科間連携の探究的学習の実践

現在の白河実業と修明高校の農業の学び

白河実業

（農業生産に係る
基礎的な学習）

農業科

育てる

修明高校

（農業生産に係る
各分野を網羅・深化）

生産流通科

育てる

食品科学科

つくる

重複する学科
共通する強み
（地域と連携した取組、
ＪｰＧＡＰ取得･･･）

だからこそ･･･

修明高校の学科の方向性

文理科（上級学校への進学に向け、きめ細かい学習指導を実践）
生産流通科（農畜産物の栽培・飼育に関する知識・技術を習得）
食品科学科（農畜産物の加工・貯蔵・流通、食品に関する知識・技術を習得）
情報ビジネス科（購買、販売、財務等の経営情報の処理と活用能力の育成）

＋

増設する農業１学級　＋地域資源を生かした課題研究

方向性１　既存学科を総合的に学べる学科（栽培、食品加工、販売まで網羅した６次化商品開発など、**地域農業の活性化**に取り組む学科）

方向性２　**農業の周辺分野**を学べる学科（ヒューマンサービス系）

塙工業高校の地域と連携した取組を、**統合校**や**修明高校**において円滑に継承するために

より広域な地域との連携

1　**地域課題探究型学習**の推進
（課題研究の充実など）
2　**地域の産業界に触れる機会**の充実
（インターンシップなど）
3　**地域貢献活動**の活性化（ボランティア活動など）

３　今後のスケジュール

再編整備に係る教育内容検討委員会の検討スケジュール(案)

2019年度（令和元年度）	2020年度（令和２年度）	2021年度（令和３年度）	2022年度（令和４年度）	2023年度（令和5年度）
11 12 1 2 3	4 5 6 ・・・ 3	・・・ 10 11 12 1 2 3	4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3	4

第3回改革懇談会 → 改革懇談会（4回以降～

３校による教育内容検討委員会

- 統合校の教育方針・教育目標・校名・教育課程等の検討
- 統合校の魅力化・特色化の検討
- 修明高校の新学科の教育課程等の検討
- 修明高校の魅力化・特色化の検討

再編時３年生の入学者選抜

統合校校名決定

・部活動の検討
・学校案内作成
・修学旅行先検討
など

再編時２年生の入学者選抜

統合校体験入学実施

・生徒交流会の実施
・合同職員会議の実施
・入学者選抜の検討
など

統合校入学者選抜

統合校
開校式
入学式

修明高校
新学科
開始

2021年度入学生【統合時３年生】現：中学2年生	2022年度入学生【統合時２年生】現：中学1年生